

中村特別支援学校に着任して、はや1か月半が過ぎようとしています。

新入学の子どもたちと一緒に、ワクワクというより、ドキドキしながらスタートした4月でしたが、子どもたち、保護者、関係の皆様には温かく接していただき、本当にうれしく思っています。まだまだ、新型コロナウイルス感染症や世界の情勢も落ち着いてはならず、心配な日々は続きますが、子どもたちに元気のパワーをもらいながら教職員一同頑張っていきたいと思います。子どもたちが生き生きと活動する、元気がいっぱい、笑顔のあふれる学校にしていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

さて、ゴールデンウィークも終わり、中村特別支援学校も日常が戻ってきています。どこもすごい人出だったようですが、皆さん、それぞれにリフレッシュできたのではないのでしょうか。ゴールデンウィーク明けの子ども達は、笑顔の子供たちがたくさんいました。もうすぐ、梅雨の季節を迎え、お天気も安定しませんが、みんなが楽しみにしているプールが始まったり、高等部では現場実習が始まったりします。学校での活動が楽しく充実するように学校でも新型コロナウイルスの対策は徹底し、子どもたちの安全を守っていくように取り組みます。ご家庭でも体調面で心配なことがありましたら、すぐに学校にも連絡をお願いします。

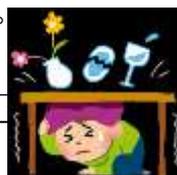
【中村特別支援学校 令和4年度の重点的な取組】

中村特別支援学校では、これまで防災教育を含め、様々な重点項目に取り組んできました。今年度は、次の4点を主な取組としています。

- ① いい授業をするために、授業評価と学習評価を授業改善と教育課程の改善につなげる仕組みを構築する（専門性の向上）
- ② 卒業後の「豊かな生活」と地域での「働く生活」を見据えた教育内容をつくる。（キャリア教育の充実）
- ③ 障害による苦手さや困難さに ICT を活用して、効果的に学ぶ児童生徒を育成する（ICT教育の充実）
- ④ いい授業をするために、自分をたかめる機会と、子どものことや授業のことを考える時間をつくりだす。（働き方改革）

第1回避難訓練（地震）を行いました。

4月28日（金）9：40から各学部で緊急地震速報があり、地震が起こったらどうなるか、自分たちはどのような行動をとるかについて事前学習を行い、その後で、高知県（四万十市は震度7）に大地震が起こった想定で避難訓練を行いました。児童生徒は、これまで学んできた「自分の身を守る」ためにすぐに机の下にもぐったり、教室の中で「だんごむし」になったりと、正しい身の守り方や避難の仕方を確認することができました。教職員も、校長室を災害対策本部として無事を確認しての報告や責任者に連絡を行う訓練を行いました。家庭でもいつ来るかわからない「大地震」に備えて、いざという時の避難場所や、避難経路の確認をしておいてくださいね。



「マチコミメール」から「すぐーる」にバトンタッチ

これまで活躍していた「マチコミメール」からセキュリティの高い「すぐーる」を高知県が導入し、県立学校すべてで使うようになりました。たくさんの保護者や関係機関がすぐに登録をしてくださり、ありがとうございました。これからは「すぐーる」を中心としてお便りなどを保護者に配付していきます。登録が済んでいない方は、登録をよろしくお願いいたします。登録の仕方等がわからない時は、クラスの担任にご相談ください。すぐに、担当者につないで対応します。